

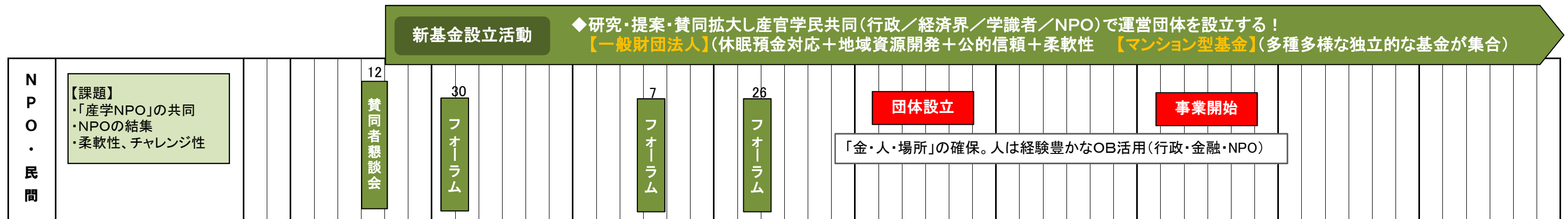
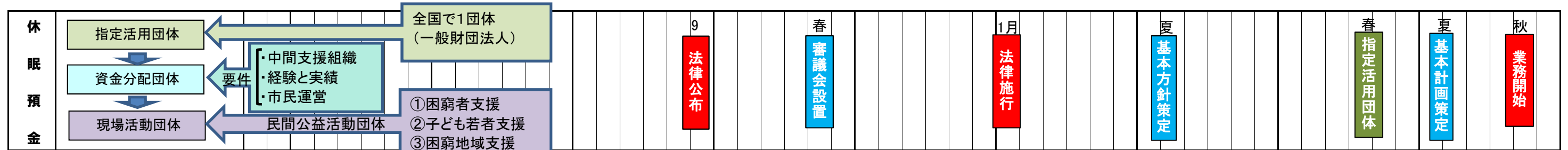
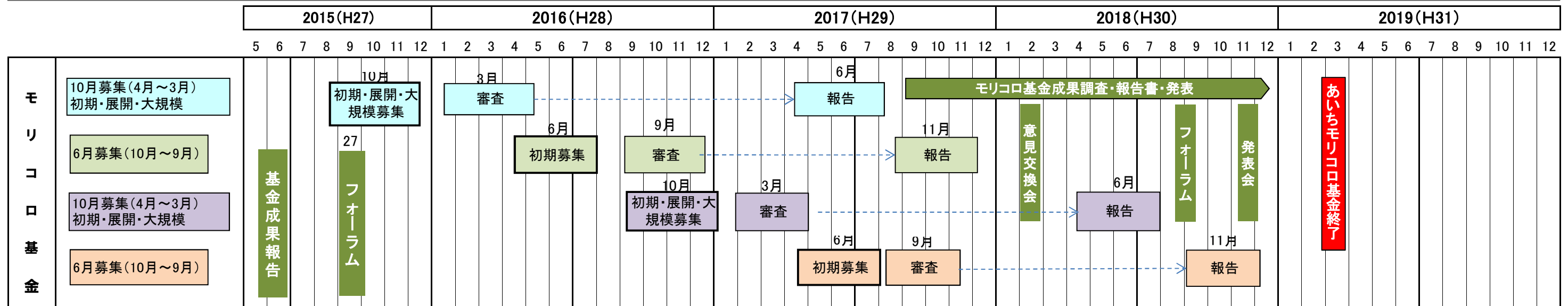
あいちモリコロ基金を継承する「新基金」について(スケジュール) ◆休眠預金を活用した場合◆

2017/1/ 新Ver1

**目的** ◆愛・地球博の理念と成果を継承した「あいちモリコロ基金」を継承する  
◆これからの時代に必要な民間公益活動を育てる。安心安全な持続型社会を創る

**機能** ◆シンクタンク機能、課題解決、創造・開発、戦略性、団体・人材育成。  
◆公益性と信頼、柔軟性・多様性、産官学民共同で普遍性。

**課題** ◆南海トラフ巨大地震◆少子高齢化◆多文化共生◆地域コミュニティ◆リニア◆etc



**【あいちモリコロ基金】**  
 ・愛・地球博は官民共同で成功、NPO・ボランティアの協力を評価。  
 ・「万博協会・愛知県・名古屋市・名商・中経連」が公益信託として設立。  
 ・万博剰余金で市民活動基金が生まれたのは歴史上初。  
 ・2007年モリコロ基金スタート。13億円をおよそ10年で使い切ると設計。  
 ・「初期(30万)」「展開期(100万)」「大規模(500万)」の3種類・年約1億円助成。  
 ・中部5県の市民活動を育て、協働を推進、地域や社会の課題解決に貢献。

**【休眠預金活用制度】** \* 国が制度設計  
 ・2016/12/9公布。年間約500億円を民間公益活動に「助成・貸付・出資」。  
 ・2019(H31)秋に業務スタート。  
 ・資金は「指定活用団体」⇒「資金分配団体」⇒「現場活動団体」と流れる。  
 ・「資金分配団体」は、「中間支援組織・経験と実績・市民運営」が要件。  
 ・この仕組みが「呼び水」となって、地域に「資金の流れが新たに出来る」ことが期待されている。

**【マンション型基金】**  
 ・モデルは「大阪コミュニティ財団」(1991設立)、大阪商工会議所が事務局。  
 ・大阪関西が中心、全国から「資金」を集め、全国「支援」。年間1億円弱。  
 ・企業名や個人名を冠にしたもの、市民の小口寄付を集めるもの、奨学金など。  
 ・100を超える種類の「基金」がマンションのように独立し共存、共同管理運営。  
 ・「寄付者の意思を活かす」「共同管理運営で効率化」などが特性。